**【滋賀県米原市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	滋賀県米原市
担当課名	スポーツ推進課、学校教育課
電話番号	0749-53-5155（スポーツ推進課）

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	37,380人	部活動数	30部活
公立中学校数	6校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
公立中学校生徒数	1,015人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における米原市の現状・課題

○少子化による影響

- ・学校単位での部活動が維持できなくなっており、学校によって選べる競技数が異なっている。
- ・現在、市内各中学校において部活動が行われているが、種目によっては子どもの数が減少し、合同で大会等に出場する地域も出てきている。
- ・部活動に対する、子どもたちのニーズも多様化している。

○教員の働き方について

- ・部活動の顧問や指導者の時間外勤務や休日勤務が増加する一方で、未経験の教員による部活指導が常態化している。

○部活動のあり方

- ・地域移行に向けては、地域の実情に応じた受け皿の確保が課題。
- ・令和5年度に滋賀県としての方針が示されたが、今後、県の方針を参考にしながら、市としての部活動のあり方や方向性を早急に検討していく必要がある。

地域部活動推進事業に係る連絡協議会資料
【生徒向けアンケート結果】

(参考) ※R3成果報告書より

【保護者向けアンケート結果】

【全職員向けアンケート】

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（米原市における推進体制図）

▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会（スポーツ推進課）**
 - ・実証事業の申請および取りまとめ。
 - ・国、県、受け皿となる団体との連絡調整 * 契約関係
 - ・チーム会議の調整、実施
 - * 令和6年度からは学校教育課に移行。

- **教育委員会（学校教育課）**
 - ・学校（部活動）との連絡調整。
 - ・市としての部活動のあり方（方針）の検討

※令和5年度から、チーム会議を立上げ、連携を強化しながら課題解決に取り組んでいます。

年間の事業スケジュール

・4月6日	地域部活動にかかる委託先との事前協議	・11月8日	第2回部活動の地域移行に関する協議会 * 県方針原案の提示
・4月20日	伊吹山中学校への協力依頼および協議	・ "	地域部活動視察研修（岐阜羽島市）
・4月26日	実証事業の開始（滋賀県および委託先との契約締結）	・11月16日	地域部活動実証事業に係る協議、Bispoの取材対応
・5月8日	保護者説明会	・12月7日	実証事業の中間検査
・5月9日	部活動に関する情報交換会	・12月26日	部活動の地域移行および6年度事業の情報交換会
・ "	第1回チーム会議（スポーツ推進課、学校教育課）	・1月19日	双葉総合体育館との協議（部活動地域移行推進支援員）
・6月21日	第2回チーム会議 * 現状の共有と課題について	・1月25日	地域部活動先進地視察（兵庫県はりま市） * 雪により中止
・8月7日	変更契約 * 県の内示によるもの	・1月31日	第4回チーム会議
・10月16日	柏原学区ダンスイベント	・2月29日	実証事業の完了、成果報告等の作成
・10月24日	第3回チーム会議	・3月8日	実証事業の事業完了報告書の提出

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	卓球（男子・女子）、ホッケー（男子・女子）
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	4部活		

米原市の取組

▼活動概要

拠点校名	伊吹山中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	4部活
地域クラブ活動で実施した種目	卓球、ホッケー
運営主体名	(公財)伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団
運営類型	その他の類型
1か月あたりの平均的な活動回数	卓球：月3回程度 ホッケー：月3回程度
指導者の主な属性	競技団体（米原市卓球協会、滋賀県ホッケー協会）
活動場所	卓球：伊吹山中学校体育館 ホッケー：伊吹山中学校グラウンド 米原市伊吹第1グラウンド、OSPホッケースタジアム
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者による送迎等
1人あたりの参加会費等（年額）	卓球、ホッケーともに保険代のみ
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,000円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

※イメージ図

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：ア 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に関する取組

休日における運動部活動を地域スポーツクラブ活動として実施していくために、地域団体、競技団体やスポーツチーム、学校が連携および役割分担をして、持続可能な運営ができる体制の検討・構築を行う。

○責任の主体の明確化に関する取組

休日における運動部活動を地域スポーツクラブ活動として、生徒および指導者が安心して行えるよう、活動中の責任所在のほか、活動中における事故や生徒間のトラブルなどへの対応主体を明確にするルール等の検討を行う。

取組の成果

○R3-4年度のモデル事業に引き続き、R5年度は（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団に実証事業という形で業務を委託し、部活動と地元の競技団体の指導者との連絡調整を行いながら、地域部活動に取り組んだ。

・参加生徒数…卓球690人（男子282人女子408人）、ホッケー858人（男子463女子395人）※いずれも延べ人数

・指導者数…卓球8人、ホッケー3人（※実人数）

○事業団が核となった体制を整備したことにより、事務的な業務や競技団体や指導者との連絡調整など、地域部活動をスムーズにコーディネートでき、部活動ガイドラインに即して実施できた。また、地域部活動として実施したことにより、複数人いる学校の担当教師が交代で休みを取ることができた。

○責任の主体の明確化については、活動中の不安感も大きいため、責任の所在やトラブル対応を行うための「マニュアル案」を作成した。

特に工夫した事項

○関係者により、先進地視察（岐阜県羽島市）を行い、部活動のあり方についての研修を行った。

○庁内チーム会議を開催するなど連携を強化し、常に情報共有した。（年間4回実施）

○関係団体による協議を行った。

今後の課題と対応方針

○令和3年度から事業を継続していることから、地域部活動として今後も実施していくことが可能であるが、地域部活動の実施にあたっては、事務局運営や指導者への謝金なども必要となり、受益者負担を含め、今後の予算確保や制度の構築が課題となる。

○地域部活動については、県の方針が示されたものの、市としての方針がないため、受け皿となる団体を含めて、米原市の実情に応じた地域移行に向けた制度構築が必要となる。次年度以降、コーディネーターを中心に、検討委員会を通じて、さらなる検討を進める。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

○複数の中学校区からの参加を受け入れる体制を構築する取組

モデル部活動の地域スポーツクラブ活動において、他の中学校区からの参加生徒を受け入れる体制を構築する。

○柏原学区のダンスイベントの取組（その他の取組）

部活動による新たな地域を盛り上げ方を模索するため、柏原学区において、世界的なダンサーを招いたダンスイベントを実施した。

取組の 成果

・複数の中学校区から参加を受け入れる体制の構築について、関係者による協議を行ったが、学校側の考えもあり、ハードルが高いという結論に至った。

（主な意見）

・違う学校から参加することに対しては、学校のすり合わせが必要であり、その必要性がない学校は関心が薄い。

・学校の思いとしては、自校で部活動を行い、それ以上に求めるならクラブチームで活動してほしいという思いがあるとのこと。

・その他の取組として、著名なダンサーによるダンス体験イベントを実施したことにより、次年度新たにダンス部を創設することとなった。

特に工夫 した事項

・部活動による新たな可能性を模索するため、柏原学区において、世界的なブレイクダンサーを招いたダンスイベントを実施した。
著名人によるダンスと吹奏楽部とのコラボレーションなど、参加した生徒全員が関心を持って楽しむことが出来た。

今後の 課題と 対応方針

○本市の場合は、合併前の旧町ごとに中学校区が確立しているため、複数の中学校のクラブ活動の受入れについては、移動距離や送迎の問題など課題が多い。このため、次年度以降は、地域部活動コーディネーターを中心に、部活動地域移行検討委員会の中で検討を進める。
○柏原中学校のダンス部については部活動指導員を配置し、地域との連携を大切にした運営を予定しているが、今後のあり方や地域との関り方については検討が必要。

2. 実証内容と成果

参考資料（地域部活動にかかる保護者説明会チラシ）※（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団作成

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 2023年度

＝地域スポーツクラブ活動体制整備事業＝ 卓球：TABLE TENNIS

運動部活動の地域移行に向けた実証事業（国・県・市）として実施

（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団が事務局受託

目的に応じて事業を選択

学校と地域が連携し、地域指導者も事業に参画

こんな参加も可能

- ・平日の部活のみ卓球… Aクラス
- ・週末も卓球に取り組みたい… A・Bクラス
- ・もっと卓球のレベルアップをしたい… A・B・Sクラス

保護者説明会
(希望者のみ)

5/8(月)
19:00～

場所
伊吹山中学校
ランチルーム

申込書に参加可否をご記入ください

日時：5月27日(土)～ 詳細は申込後
対象：中学1～3年生

※活動目的を理解し、活動を前向きに取り組むことができる人
※体験されてからの申込みを推奨します

参加費：1,000円(Bクラス参加者のみ。スポーツ安全保険等)
※いぶき卓球クラブ保険適用のためクラブ会員の方は支払いは必要ありません

持ち物：運動のできる服装シューズ・タオル・飲み物(競技用具の貸出し可)

指導者：中学校指導者、地域指導者(いぶき卓球クラブ他)

場所：伊吹山中学校体育館

Aクラス(平日部活)
平日放課後(通常部活)

体力づくり・運動習慣形成

Bクラス(実証事業)
土曜日3時間

体力・競技力の向上

Sクラス(地域クラブ)
土or日3時間

さらなるレベルアップ
※いぶき卓球クラブ入会必要

お問合せ：（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団（伊吹山麓青少年総合体育館内）
米原市春照77-2 Tel 58-1155 Fax 58-1213 担当：辻村

きりとり

2023 卓球 = 地域スポーツクラブ活動体制整備事業 = 申込書 兼 承諾書

参加者氏名: 男・女 伊吹山中学校 () 年

希望クラスに○
(複数可) Aクラス(平日部活) Bクラス(土曜3H) Sクラス(競技力向上)

活動方針を尊重し、上記の受講を承諾します。保護者氏名() 保護者説明会 参加 ・ 不参加

連絡先() 申込先 卓球部顧問の先生へ申込書を提出ください 切:5月2日(火)

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 2023年度

＝地域スポーツクラブ活動体制整備事業＝ ホッケー：HOCKEY

運動部活動の地域移行に向けた実証事業（国・県・市）として実施

（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団が事務局受託

目的に応じて事業を選択

学校と地域が連携し、地域指導者も事業に参画

こんな参加も可能

- ・平日の部活のみホッケー… Aクラス
- ・週末もホッケーに取り組みたい… A・Bクラス
- ・もっとホッケーのレベルアップをしたい… A・B・Sクラス

保護者説明会
(希望者のみ)

5/8(月)
19:00～

場所
伊吹山中学校
ランチルーム

申込書に参加可否をご記入ください

日時：5月27日(土)～ 詳細は申込後
対象：中学1～3年生

※活動目的を理解し、活動を前向きに取り組むことができる人
※体験されてからの申込みを推奨します

参加費：1,000円/年(B・Sクラス参加者のみ。スポーツ保険等)
※Jrユース保険適用のため水曜夜等のJrユースで参加費支払いの方は支払い必要ありません

持ち物：運動のできる服装シューズ・タオル・飲み物(競技用具の貸出し可)

指導者：中学校指導者、地域指導者(Jrユース他)

場所：伊吹第1グラウンド他

Aクラス(平日部活)
平日放課後(通常部活)

体力づくり・運動習慣形成

Bクラス(実証事業)
土曜日3時間

体力・競技力の向上

Sクラス(地域クラブ)
土or日3時間

さらなるレベルアップ
※Jrユース活動

お問合せ：（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団（伊吹山麓青少年総合体育館内）
米原市春照77-2 Tel 58-1155 Fax 58-1213 担当：岩山

きりとり

2023 ホッケー = 地域スポーツクラブ活動体制整備事業 = 申込書 兼 承諾書

参加者氏名: 男・女 伊吹山中学校 () 年

希望クラスに○
(複数可) Aクラス(平日部活) Bクラス(土曜3H) Sクラス(競技力向上)

活動方針を尊重し、上記の受講を承諾します。保護者氏名() 保護者説明会 参加 ・ 不参加

連絡先() 申込先 ホッケー部顧問の先生へ申込書を提出ください 切:5月2日(火)

卓球部（男子・女子）募集チラシ

ホッケー部（男子・女子）募集チラシ

2. 実証内容と成果

参考資料（スポーツ情報誌「Bispo! +」への取材協力）※11/16収録、（公財）滋賀県スポーツ協会発行

- 【参加者】
 米原市：
 ・スポーツ推進課 1名
 ・学校教育課 1名
 （公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化
 振興事業団職員
 ・地域部活動担当者 2名
 : 地域部活動指導者
 ・伊吹山中学校関係者 2名

topics

ご存じですか?「運動部活動の地域移行」

国が掲げる「学校部活動の地域移行」。滋賀県では、彦根市と米原市がその事業に取り組んでいます。今回は米原市伊吹地域の関係者の声に集まっていただき、「運動部活動の地域移行」について伺いました。伊吹地域では、伊吹山中学校の男女ホッケー部と男女卓球部が、地域移行のモデル事業として実施されています。

※1「学校部活動の地域移行」は、伊吹地域の各中学校から選出された部活動指導者を派遣し、文科省が2020年9月に「2020年度地域移行推進事業」を実施。滋賀県はスポーツ庁、文科省の協力を得て、モデル事業の推進、事業の普及を図ることに努めています。

国が掲げる「学校部活動の地域移行」。滋賀県では、彦根市と米原市がその事業に取り組んでいます。今回は米原市伊吹地域の関係者の声に集まっていただき、「運動部活動の地域移行」について伺いました。伊吹地域では、伊吹山中学校の男女ホッケー部と男女卓球部が、地域移行のモデル事業として実施されています。

※1「学校部活動の地域移行」は、伊吹地域の各中学校から選出された部活動指導者を派遣し、文科省が2020年9月に「2020年度地域移行推進事業」を実施。滋賀県はスポーツ庁、文科省の協力を得て、モデル事業の推進、事業の普及を図ることに努めています。

土曜日は「地域部活」として指導者を派遣

部活動の地域移行の背景や事業内容について教えてください。

谷川さん 事業の背景にある理由は主に3点。1点目は、少子化、団体競技を軸に、学校部活動の維持が難しくなっています。2点目は「やむを得ない理由がない」として専門的な指導を受けたいという声。子どもたちのニーズの多様化による点目。教員の働き方改革の課題です。

横田さん まずは2021年度～2022年度にモデル事業として始まり、モデル事業での課題点などを踏まえ、今年度からは実証事業という形で取り組みを続けています。

若山さん 私たちは米原市唯一の公益財団法人です。市や県の指定管理者であり、伊吹山中学校とは関係性も深いことから、今回の事業を委託することになりました。

具体的にどのような取り組みをしているのでしょうか。

横田さん 休日の部活動の地域移行ということで、事業団には指導者の選定、派遣や資金の支払いなど、コーディネート的な役割を担っていただいています。

若山さん まず地域部活は、土曜日の3時から。そこに専門的な指導ができる地域の人を派遣します。もともと伊吹には、ホッケーも卓球もジュニアのクラブチームが数あり。1日からそのクラブチームの指導者が部活動の場で技術指導する機会もあり、実態として変わらないう部分もあったんです。ちなみに地域部活のサッカー指導者は、男女合わせて4名ほどいます。

北川先生 卓球専門ではないので、選手からの指導者を確保。常時2名は参加できるような体制です。

北川先生 入部に関しては、生徒に「A-B-S」という3つのクラスを提示します。Aは平日放課後の通常部活、Bは地域部活、Sはクラブチームでの活動です。3つ全部に参加してもいいし、Aだけでもいいし、体カブりが目標、レベルアップしたいなど、生徒の希望によって選んだらいいと思います。

事業の取り組みで苦労された点はありますか。

辻村さん 指導者の出入りの調整や学校とのやり取りなど、最初は慣れないことが多くて、先生方にも苦労をかけたと思います。

若山さん 僕はホッケーのクラブチームにも関わっていますが、例えばクラブチームと学校とではリスク管理の視点が明らかに違うんです。でも地域部活を進めるには、両者が同じような目標を掲げなければなりません。

谷川さん 例えば他校の生徒を一人、地域部活に参加させたいという場合、学校側としては、安全面や人間関係でのトラブルなどを心配するよね。

若山さん 僕は簡単に考えましたが、学校に聞いてみることも必要かなという部分もあり。まだ慣れないうところはあります。

部活動の地域移行によるメリットとは。

金澤先生 私は自身ホッケーをしていましたが、指導は初めてだったので不安がありました。でも地域の方に来てくださると、専門的な指導を拝見していただくことができました。他の部活にも引き継いで、生徒が楽しんでプレーできていますね。

北川先生 卓球専門ではないので、選手からの指導になることにプレッシャーがありました。ただ私が担任した時は地域部活のモデル事業が始まっていたので、専門的な指導はお任せしています。

若山さん 地域移行と聞くと、現状では先生方も週末の地域部活に参加して休んで休んでいます。以前だったら、部活動自体を休みにせざるを得ませんでした。

今後の展望についてお聞かせください。

横田さん 今は実証事業なので支障はありませんが、それがいつまで続くかわかりません。資金をどこで捻出するのかが、活動の責任者などどうするのかも整理が必要かなと思います。関係者が連携し、本当にしたいと試行錯誤しながら進めています。

谷川さん 現在の実証事業は理想的な形ですが、他の学区にも同じように広げたいですね。また、僕が担任に守らなければいけないのは、子どもたちがスポーツに取り組むための環境。そのために子どもたち、保護者さん、先生方、地域の方の思いをきちんと整理し、なければなりません。今後は関係者を立ち上げ、皆さんの意見を聞きながら、米原市として方針を固めていく予定です。

4保護者からの問い合わせに、事務局が丁寧に対応。生徒のニーズに合わせたクラス分けができる。

運動部活動地域移行 米原市 伊吹地域の取り組み

滋賀県 保健体育課

米原市 横田啓也さん 米原市教育委員会 体育指導課 課長

事業団 若山幸太郎さん 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 代表理事

伊吹山中学校 指導者派遣 金澤隆さん 伊吹山中学校 男子サッカー部顧問

滋賀県 谷川俊浩さん 米原市教育委員会 体育指導課 指導員

事業団 辻村真衣さん 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 代表理事

伊吹山中学校 指導者派遣 北川和宏さん 伊吹山中学校 男子卓球部顧問

出席者の方々

帝京大学ラグビー部前監督 若出雅之先生来る 滋賀県スポーツ少年団60周年記念講演として「令和5年度滋賀県スポーツ少年団指導者協議会研修大会・表彰式」を開催します!

滋賀県スポーツ少年団は、昭和38年9月に犬上郡御園町と愛知郡稲穂町(現彦根市)において、発声を上げました。以来、今年度60周年を迎えることとなりました。

つきましては、令和6年2月3日(土)午後、会場 県立男女共同参画センター大ホールにおいて滋賀県スポーツ少年団指導者協議会研修大会・表彰式と兼ねて60周年記念講演として、開催させていただきます。

講師は、帝京大学ラグビー部で前人未踏の大学選手権9連覇(H21年度～29年度)を含むV10を達成された前監督の若出雅之先生(帝京大学スポーツ科学センター副センター長)にご講演いただけることになりました。

若出先生は、和歌山県出身ですが、米原市で中学校教諭をされ、県立八幡工業高等学校の教諭でラグビー部の顧問をされるなど、滋賀県にもご縁のある先生です。

当日は、「(若)「自ら学び成長する人材」育成「若出流」のマネジメント～スポーツが全てではない、基本は人間力の向上から」と題して講演をいただきます。

聴衆至上主義にとらわれることなく、子どもの将来を考えた人間育成の大切さについて研修ができる講演です。参加料無料の講演です。スポーツ少年団の指導者の方だけでなく、多数のご参加をお待ちしています。スポーツ少年団以外の方のご参加は、077-526-5522(滋賀県スポーツ少年団)までお問い合わせください。

「sprint 50 challenge」～桐生祥秀選手 凱旋!～

滋賀県と滋賀県スポーツ協会が主催となり、令和5年11月23日(木祝)、陸上男子100メートル元日本記録保持者の桐生祥秀選手による陸上イベント「sprint 50 challenge」を、滋賀県スポーツ協会の階層式会場である彦根市の平和堂HATOスタジアムにて開催しました。

小学生以上の約300人が参加し、走り教室や50メートル走で桐生選手と一緒に身体を動かしました。

トークショーでは、県スポーツ協会スポーツ特別指導員である瀧吉優斗選手(走高跳)と陸上のトレーニング方法や、普段の心構えなど大空聖り上がりました。

スポーツ情報誌「Bispo! +」で米原市の取組が紹介されました。

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真：保護者説明会、地域部活動（卓球、ホッケー）、先進地視察研修）

地域部活動に係る保護者説明会（5/8）

岐阜県羽島市先進地視察研修（11/8）

休日の地域部活動の指導の様子（卓球部女子）

地域部活動の指導の様子（ホッケー部男子）

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真／柏原学区ダンスイベント）10／16

TAISUKEさんプロフィール

本名 野中泰輔

8歳でブレイクダンスと出会い、11歳から日本代表として海外の大会に出場する。その後、世界最高峰の大会「Red Bull BC ONE」で準優勝するなど、20年以上にわたり世界のトップ選手として活躍する、ブレイクダンスのレジェンド的存在。※来年のパリ五輪において、ブレイクダンスは「ブレイキン」の名で正式種目となり、Taisukeさんは監督またはコーチの候補となっている。

当日の日程（予定）

9:30 開場
10:00 オープニング（吹奏楽部演奏）
TAISUKEさんダンス披露
ダンス体験
TAISUKEさん講演会
12:00 終了

※予定や内容は変更になる場合があります。
詳細は柏原中学校ホームページをご覧ください。

10月16日（月）

10:00開演 9:30開場

柏原中学校体育館

※台風等により、特別警報または暴風警報が発令された場合は学校は臨時休校となり、本イベントも中止となります。

お問い合わせ

柏原中学校 57-0030（担当：教頭 松嶋）

※ダンス体験に参加される場合、動きやすい服装でお越しください。（見学のみ可）

ダンス指導を行う世界的なブレイクダンサー-TAISUKEさん

ダンスを体験する生徒たち

2. 実証内容と成果

参考資料（部活動の地域移行に向けたイメージ図）※学校教育課作成

部活動の地域移行に向けての取り組みについて

部活動の地域移行とは？

これまで部活動が担っていた役割・機能を地域社会に移行・展開し、子どもたちが自分のやりたい活動に自分らしく取り組めるよう、地域全体のスポーツ・文化芸術活動の環境を整備していくことです。

部活動地域移行の背景

少子化

- 学校単位での部活動が維持できない。
- 学校によって、選べる競技の数が異なる。

働き方

- 教員の時間外勤務、休日出勤の増加。
- 未経験の教員による部活指導の常態化。

国や県の改革の方向性

改革推進期間

- R5年からの3年間を改革推進期間とします。
- 地域の実情に応じて、早期の移行を目指します。

休日

- 休日の部活動から段階的に地域移行を目指します。
- 平日の部活動については、地域の実情に応じて、早期の移行を目指します。

地域移行のメリットについて

ニーズ

- 子どもたちの活動の選択肢が増えます。
- より、専門的な指導を受けることが出来ます。

向上

- 教員の働き方改革が進み、学校教育の質が向上します。
- 地域の文化、スポーツ環境の向上に繋がります。

米原市部活動地域移行の現状と今後のスケジュールについて

部活動改革推進期間

伊吹山学区実証事業

令和3～4年度は、地域運動部活動推進事業として、令和5年度からは、地域スポーツクラブ活動体制整備事業を伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団へ委託。伊吹山中学校、男女ホッケー部・男女卓球部の休日の部活動において、休日の地域移行に関する実践研究を実施。

部活動指導員の配置

地域の部活動指導員を、市内5中学校に9名配置。
 ○柏原中学校(吹奏楽部・卓球部)
 ○大東中学校(陸上部・バスケットボール部)
 ○伊吹山中学校(卓球部)
 ○米原中学校(野球部・バレー部・サッカー部)
 ○双葉中学校(陸上部)

伊吹山学区実証事業の継続

令和5年に引き続き、伊吹山中学校での休日の部活動を伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団へ委託し、休日の地域移行に関する実践研究を実施する予定です。

部活動指導員の拡充

市内中学校への部活動指導員の拡充を予定しています。生徒のニーズに応え、新たに創設される柏原中学校のダンス部にも部活動指導員を配置し、地域との連携を大切にしたい運営を予定しています。

部活動地域移行コーディネーターの配置

部活動地域移行コーディネーターを新たに配置する予定です。学校や地域団体、指導者などとの各種連携や調整を行い、米原市の地域移行の中心を担います。

米原市部活動地域移行等検討委員会の創設

部活動の地域移行に向けた審議会を新設する予定です。一般市民や学識経験者、関係団体等からの多様な意見を反映し、米原市の地域移行の方針を定めていく予定です。

R 7

部活動の地域移行のR6年度の進捗状況の検証を踏まえながら、段階的に地域移行を進めるとともに、R8年度からの施策に反映していきます。

伊吹山学区実証事業

柏原学区ダンスイベント

【問合せ】
 米原市教育委員会 スポーツ推進課・学校教育課
 〒521-8501 米原市米原1016番地
 電話：53-5152

2. 実証内容と成果

参考資料（令和6年度の事業計画案）※学校教育課作成

令和6年度 米原市 部活動地域移行計画 案			
部活動の地域移行に向けた審議会		部活動地域移行コーディネーター	
4月		・伊吹山学区実証事業 保護者説明会	通年の業務 ・米原市基本方針、地域移行のスケジュールの検討及び策定の準備 ・市内小中学校、地域関係団体、地元企業等との連携に向けての調整 ・審議会の準備、運営等 ・先進地視察についての業務 ・各種会議等への出席
5月		・地域移行アンケート等の調査に向けての準備	
6月			
7月	第1回審議会 ・米原市部活動地域移行に関する諮問 ・部活動地域移行の概要 ・米原市の部活動の現状と課題 ・伊吹山学区実証事業の現状と課題	・第1回審議会の実施 ・地域移行アンケートの実施 （対象 生徒、保護者、教職員、地域団体等）	
8月		・第1回審議会のまとめ ・地域移行アンケートの分析、まとめ	
9月	先進地視察	・先進地視察	
10月		・先進地視察についてのまとめ	
11月	第2回審議会 ・中学校部活動に係るアンケート結果について ・先進地視察についてのまとめ ・地域移行基本方針の検討 ・地域移行のスケジュールについての検討	・第2回審議会の実施 ・第2回審議会のまとめ ・伊吹山学区実証事業のまとめ	
12月			
1月	第3回審議会 ・地域移行基本方針の検討 ・地域移行のスケジュールについての策定	・第3回審議会の実施	
2月		・第3回審議会のまとめ	
3月		・基本方針、地域移行のスケジュールの広報	
R7 5月	第4回審議会 ・地域移行基本方針の検討		
R7 7月	第5回審議会 ・審議会答申		

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

●経過

- 令和3年2月に滋賀県から、地域部活動のモデル事業としての打診があり、米原市から（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団に委託する形で、モデル事業を実施することになった。

●実施にあたって生じた課題

- 初めての実施ということもあり、拠点校の選定や受け皿となる団体との調整、保護者への周知など、組織体制の構築に苦慮した。
- スポーツ担当課だけでは、部活動のあり方は検討できないため、学校教育課との連携が不可欠。

●実施にあたっての課題

- 指導者と部活動顧問との指導方針の共有や指導者の確保

●実施内容等

- 卓球部、ホッケー部の休日等の部活動を「地域スポーツ活動」として実施。

●実施にあたっての課題

- 責任の所在の明確化など

●実施内容等

- 市内チーム会議の立上げ
- モデル事業を実証事業として継続し、責任の所在の明確化や体制の構築などの課題解決に取り組んだ。

令和6年度～

- 部活動地域移行コーディネーターの配置
- 部活動地域移行検討委員会の設置

●実施内容等

- 実証事業の継続
- 部活動指導員の拡充
- 部活動地域移行コーディネーターの配置
- 部活動地域移行検討委員会の設置
- 工夫した点等
- 市内チーム会議による連携強化
- コーディネーターを中心に、地域ニーズの把握や、学校・地域団体・指導者との連携や調整を行う。
- 検討会議を中心に、市の方針を策定する。

●実施にあたっての課題

- これまでの継続した実証事業を、持続可能な形で地域クラブ活動として実施していくための課題整理が必要。（予算確保など）
- 市の方針として、受け皿となる団体を含め、どのように地域の実情に応じた部活動の地域移行を進めるのかビジョンを明確にする必要がある。
- 市の方針に基づく、地域の実情に応じた地域移行を実践するため、総合型地域スポーツクラブなど受け皿との調整が必要。

●実施内容等

- コーディネーターの配置。
- 検討委員会の継続開催。
- 市内チーム会議の連携強化

※左に同じ

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域での受け皿体制の構築	拠点校における先行実践	拠点校での先行実践を通じて課題への対応検討・対策 拠点校：伊吹山中学校 4部活（卓球部：男女、ホッケー部：男女） 委託先：（公財）伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 R3-4モデル事業 R5-6実証事業として実施。			
	関係者との連絡調整 連携体制の構築方策	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内チーム会議の立上げ（スポーツ推進課、学校教育課） ● 部活動地域移行コーディネーターの配置（学校教育課） ● 米原市部活動地域移行検討委員会の立上げ（学校教育課） 			
	他地域における受け皿団体の確保の方策検討	総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・競技団体等の状況把握	総合型地域スポーツクラブ等と受入体制等の検討 受入体制が構築できた部活動から順次地域移行		
学校部活動の在り方検討	学校部活動の在り方に係る協議会の設置	関係者による協議会を設置		総合型地域スポーツクラブ等と受入体制等の検討 受入体制が構築できた部活動から順次地域移行 ● 米原市部活動地域移行検討委員会の立上げ（学校教育課）	
	学校部活動の地域移行に係る推進計画の策定	関係者による協議会で推進計画の協議・策定 ● 滋賀県による方針決定		● 米原市としての方針決定	
	困窮世帯への支援方策の検討	関係者による協議会で検討			
	その他関連事項の検討	関係者による協議会で検討			